<p>件 名</p>	<p>3 陳情第 4 号 瑞穂町議会基本条例に「権利」及び「義務」の文言を加える改正を求める陳情</p>
<p>第 1 陳情の趣旨 瑞穂町議会基本条例の各条文を見直して、必要な箇所に「権利」及び「義務」の文言を加える改正について、検討することを求める。</p> <p>第 2 陳情の原因 瑞穂町議会基本条例が 2020 年 9 月定例会で全会一致で可決された。 この条例には「権利」及び「義務」の文言がない。</p> <p>第 3 陳情の理由 瑞穂町基本条例は、町の憲法である。条例は瑞穂町と有権者との契約書である。 条例制定権については、憲法第九十四条に「地方公共団体は、その財産を管理し、事務を処理し、及び行政を執行する権能を有し、法律の範囲内で条例を制定することができる。」と規定されている。 そもそも憲法、法律、条例の本質は、有権者と代理人（議会・議長・議員・首長・監査委員等）との権利義務の法律関係を明らかにするものである。 憲法においては第三章で「国民の権利及び義務」を規定している。各法律においても同様の態様が見られる。 瑞穂町議会基本条例の中には、基本的人権にかかわる重要な文言である「権利」及び「義務」の文字がなく、これは反人権の条例と非難される要因である。 本件条例においても、有権者と代理機関との権利義務の法律関係を明らかにすることが求められる。</p>	

※原文のまま掲載しています。